

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2001-17475 (P2001-17475A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 23 日 (2001.1.23)
 【出願番号】特願 平 11-189702
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 G 5/00

A 6 1 G 5/02

【F I】

A 6 1 G 5/00 5 0 4

A 6 1 G 5/02 5 0 6

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 13 日 (2005.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 フレームで支持された座席部、及び前記座席部の前後における前記フレームにそれぞれ取り付けられた左右一対の車輪を備える車椅子において、前記座席部が水平面に対して傾斜した時、前記座席部を水平に保持する水平保持機構部を備えていることを特徴とする車椅子。

【請求項 2】 前記車椅子が、路面の下り傾斜又は途切れを検出する路面端部検出用センサを備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の車椅子。

【請求項 3】 前記車椅子が、路面の障害物を検知する垂直面検知用センサを備えていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の車椅子。

【請求項 4】 前記水平保持機構部が、前記フレームの前後に設けられた左右一対の車輪の高さを変えるリフト装置を含んで構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の車椅子。

【請求項 5】 前記水平保持機構部が、更に、前記座席部に取り付けられた傾斜センサと前記リフト装置を作動させるアクチュエータとを備えることを特徴とする請求項 1 又は 4 に記載の車椅子。

【請求項 6】 前記リフト装置が、前記フレームに固定されたシリンダー部と、前記シリンダー部から出入りし、端部に前記車輪が取り付けられたピストンロッドとからなるピストンシリンダー装置で構成されていることを特徴とする請求項 5 に記載の車椅子。

【請求項 7】 前記アクチュエータが油圧ポンプ及び圧油供給配管系に設けられた切替バルブ装置から構成され、前記傾斜センサからの出力信号により前記アクチュエータが選択的に前記シリンダー部内に圧油を供給及び排出を行うことを特徴とする請求項 6 に記載の車椅子。

【請求項 8】 前記水平保持機構部が、前記座席部を前記フレームに対して前後に振り子のように移動させるスイング装置を含んで構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の車椅子。

【請求項 9】 前記スイング装置が、前記座席部を前記フレームに対して摺動可能に支持する円弧状のガイドレールと、前記座席部を前記フレームに対して前後に移動させる駆動装置とから構成され、前記座席部が水平面に対して傾斜した時、前記座席部が前記ガイドレールに沿って振り子のように移動して水平状態を保持することを特徴とする請求項 8 に

記載の車椅子。

【請求項 10】 前記水平保持機構部が、更に、前記座席部に設けられた傾斜センサと前記駆動装置を作動させるアクチュエータとを備えることを特徴とする請求項 9 に記載の車椅子。

【請求項 11】 前記フレームに対してバランスウエイトが前後に移動可能に取り付けられていることを特徴とする請求項 10 に記載の車椅子。